

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	総合政策研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

○2009年度からの目標

1. 院生の研究や論文執筆に向けて、マスターセミナーを通じた指導教授のもとでの指導の徹底と本研究科がもつ学際的な教育環境をうまく連結させる教育指導体制を2011年度までに検討し、実施に移す。
2. 院生による授業評価を通じた教育方法や授業への要望をくみ取る仕組み、また教員と院生間のフランクな形でのコミュニケーションを図る仕組み・場（欧米の大学で行われているドーナツタワー等）の設置を2010年度から実施する。
3. 院生の授業や学内行事（リサーチコンソーシアム等）への出席状況や取り組み姿勢について調査・検証し、教員へフィードバックする仕組みを2010年度中に検討し、実施に移す。

○指標

1. 新たな教育指導体制の実施の有無。
2. 院生と教員がコミュニケーションを図るための場の開催回数。
3. 院生の授業への出席回数、学内行事への出席者数。